



栗原市

御駒堂遺跡

一般国道4号築館バイパス関連遺跡発掘調査

エミシの地に出現した移民集落



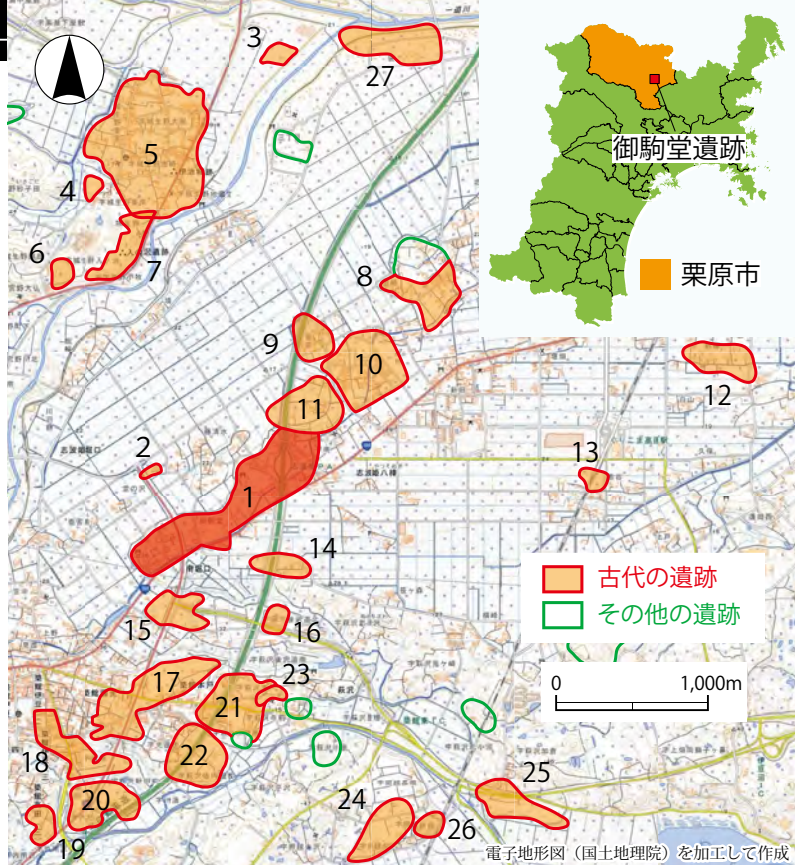
おこまどう

御駒堂遺跡

御駒堂遺跡は、宮城県栗原市志波姫堀口字御駒堂に所在し、迫川を望む段丘上に立地する旧石器時代から江戸時代にかけての複合遺跡です。遺跡範囲は東西約1.5km、南北約0.4kmと東西に細長く、現況は道路、宅地、水田、畑地、山林となっています。

過去には東北自動車道や浄水場、個人住宅等の建設に伴い発掘調査が実施されており、昭和51・53年の東北自動車道関連調査では古墳～平安時代にかけての竪穴建物（住居）跡（以下、竪穴住居跡）41軒、近世以降の掘立柱建物跡11棟、井戸跡や墓、区画溝など多数の遺構が確認されました。特に奈良時代（8世紀前半）には関東地方と共通の特徴を有するカマドや土師器（以下、関東型カマド・関東系土師器）が伴うことから、関東（坂東）からの移民集落として県内外で注目を集めました。また、遺跡周辺には、古墳時代前期における古墳文化北縁の拠点集落である国史跡入の沢遺跡、古代栗原郡を治めた国史跡伊治（此治）城跡のほか、集落跡も多数所在するなど、栗原の地は古代東北の政治や文化の要所でした。

宮城県教育委員会では、平成15年から国道4号築館バイパス建設に伴い、関係遺跡の発掘調査を実施しました。本書では、これらのうち平成21～27年に実施した御駒堂遺跡の発掘調査成果を紹介します。



No.	遺跡名	立地	種別	No.	遺跡名	立地	種別
1	御駒堂遺跡	段丘	集落	15	大天馬遺跡	段丘	集落
2	堂の沢遺跡	段丘	集落	16	後沢遺跡	段丘	集落
3	城下遺跡	自然堤防	集落	17	下萩沢遺跡	丘陵	集落
4	基内屋敷遺跡	段丘	散布地	18	源光遺跡	丘陵	集落
5	伊治城跡	段丘	城柵・集落・墓	19	高田山遺跡	丘陵	散布地
6	大仏古墳群	丘陵	墓	20	原田遺跡	丘陵	集落
7	入の沢遺跡	丘陵	古墳・横穴墓・集落	21	木戸遺跡	丘陵	集落
8	淀遺跡	段丘	集落	22	佐内屋敷遺跡	丘陵	集落
9	鶴ノ丸館跡	段丘	集落	23	鱒沢遺跡	丘陵	集落
10	吹付遺跡	段丘	集落	24	照越台遺跡	丘陵斜面	散布地
11	宇南遺跡	段丘	集落・城館	25	嘉倉貝塚	丘陵	集落
12	狐塚遺跡	段丘	竈	26	玉茨台遺跡	丘陵	散布地
13	熊谷遺跡	段丘	集落	27	刈敷袋遺跡	自然堤防	散布地
14	山ノ上遺跡	段丘	集落				

第1図 遺跡の位置と周辺の古代遺跡



S | 29 竪穴住居跡（東北自動車道関連調査）



入の沢遺跡 伊治城跡

築館バイパス
平成26年度調査区
(南から)



粘土でカマドをつくる際には、土器が補強のための構造材として使われました。

S | 29 カマド

調査成果

今回の調査では、飛鳥～奈良時代（8世紀）の竪穴住居跡が9軒みづかり、特に8世紀前葉頃※1のものが7軒ありました。過去の調査でもこの時期のものが最も多く、広い範囲に分布しています。また、平安時代以前と考えられる掘立柱建物跡も1棟みづかりました。その他の時代では、旧石器～縄文時代の遺物包含層、縄文時代の陥し穴22基、江戸時代以降の掘立柱建物跡1棟、井戸跡7基、墓17基なども発見されています。

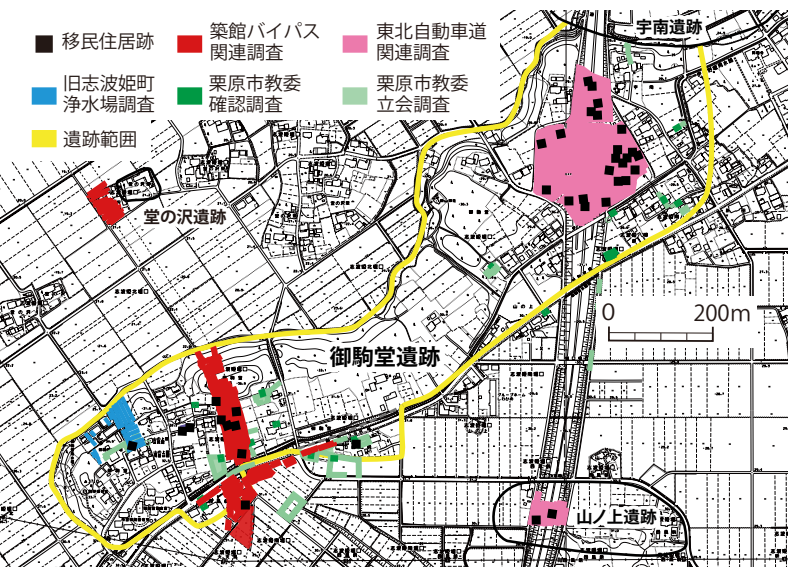
遺物は縄文土器、土師器、須恵器、石器、陶磁器、鉄製品などが出土しました。

以下では、遺跡の主たる時代である飛鳥～奈良時代について説明します。

移民はなぜやってきたのか？

過去の調査により「関東からの移民集落」とされた御駒堂遺跡ですが、今回の調査でも関東型カマドや関東系土師器が確認されます（4・5頁）。また、周辺の山ノ上遺跡、下萩沢遺跡、源光遺跡でも同様のカマドや土器が伴う竪穴住居跡が発見されており、上記4遺跡で計37軒（令和5年2月現在）を数えるなど、遺跡周辺には多数の移民が住んでいたことを伺い知ることができます。

8世紀前半の栗原地域は、畿内※2の律令国家にとっては勢力の外側にある「蝦夷（エミシ）の地」であり、北への領土拡大のまさに標的となった地域でした（第3図）。そこで律令国家は移民を大量に送り込んで郡を建て支配領域に組み込む政策を実施します（表3）。その後の神護景雲元年（767）の伊治城造営と栗原郡の設置は移民政策がもたらした大きな成果となりました。



第2図 これまでの調査地点と竪穴住居跡の分布



第3図 8世紀前半の城柵・官衙関連遺跡

表1年表

およそ～年前	時代	西暦	主なできごと
38,000年前	旧石器時代	4世紀	大型の古墳が盛んにつくられる
16,000年前	縄文時代	4世紀	雷神山古墳（名取市）、遠見塚古墳（仙台市）築造
2,400年前	弥生時代	5世紀	大仙陵古墳〔仁徳天皇陵古墳〕（大阪府）築造
1,700年前	古墳時代	6世紀	593年 聖徳太子が摂政となる
1,400年前	飛鳥時代	7世紀	645年 大化の改新 658年 阿倍比羅夫による蝦夷の地遠征
1,300年前	奈良時代	8世紀	694年 藤原京遷都 このころ郡山遺跡（仙台市）に陸奥国府設置 710年 平城京遷都 724年 多賀城（陸奥国府・鎮守府）創建
1,200年前	平安時代	8世紀	794年 平安京遷都 797年 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命される
800年前	鎌倉時代	9世紀	869年 陸奥国大地震（貞観地震） 894年 遣唐使が中止される
700年前	室町時代	10世紀	934年 陸奥国分寺七重塔が雷火で焼ける
400年前	江戸時代	10世紀	939年 平将門の乱

※1 一世紀を3つに区分して前葉・中葉・後葉と記しています。
 ※2 現在の京都、奈良、大阪、兵庫の一部

移民の住居と土器

竪穴住居跡は一辺4～6mの方形または長方形を呈しています。方向はほとんどが真北から東西に5°振れた範囲内に収まっており、過去の調査でもほぼ同様の規則性が認められました。カマドは住居の壁を掘りこんで内壁とし、更に白色粘土を積むなどして築かれています。また、煙を排出するための煙道は短く、こうした特徴は関東地方のカマドと共通するものです。

出土遺物には土師器と須恵器^{※3}があり、土師器は東北地方で特徴的な内面を黒色処理されたもの（以下、在地土師器）と黒色処理されない関東系土師器が混在し、後者が主体を占めます。甕も胴部上半が膨らむ器形や器面を削る製作技法等の特徴から関東系と考えられるものが多く出土しています。



★は関東系土師器

★土師器坏



★土師器坏



須恵器坏



★土師器甕



★土師器甕



土師器鉢

※3 土師器：浅く掘りくぼめた穴で比較的低温（700～800℃）で焼かれた赤褐色の素焼きの土器。
須恵器：密閉された窯の中で高温（1000℃以上）で焼かれた硬質で青灰色の素焼きの土器。



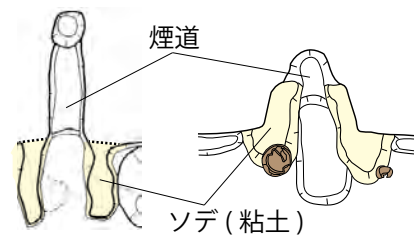
集落の変容

移民集落の形成から数十年後の8世紀中葉～後葉になると、住居数は減少し、主体を占めていた関東型カマドは少なくなりました。

土器も関東系土師器が姿を消し、在地の土師器で占められるようになります。その一方、製作にロクロを用いた土師器（以下、ロクロ土師器）や文字が記された墨書土器・刻書土器が伴うようになり、須恵器の種類も増えるなど土器のあり方に変化がみとれます。東北南部の一般集落では、ロクロ土師器は平安時代（8世紀末以降）に普及しますが、それらに一步先んじた新技術の導入、須恵器の豊富さ、土器に書かれた文字を理解する人の存在は一般集落とは様相を異にしており、移民は次第に土着化しながらも、同時期に造営された伊治城との関係の中で律令国家との結びつきを保ち続けていたと考えられます。



S I 51 床面出土土師器（南東から）



在地型カマド

関東型カマド

S I 51 竪穴住居跡（南西から）



土師器坏 (墨書「丈」)



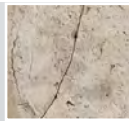
土師器坏 (刻書「子」)



※ロクロ土師器



須恵器坏 (墨書「老」)



須恵器鉢



土師器甕

しゅうえん 集落の終焉

伊治城造営前後の8世紀中葉から後葉に御駒堂遺跡の集落が縮小する一方で、周辺の集落数は増加します(表2)。この時期は伊治城内でも多くの竪穴住居跡が確認されており、移民たちは地元の人々と同化しながら周辺の集落に分散し、一部は城内に移り住んだと考えられます。また、新たな移民がこの時期にやってきたことも平安時代の文献に記されており(表3)、このことも集落増加の一因と考えられます^{※4}。その後、御駒堂遺跡では、9世紀中葉まで在り型カマドを伴う竪穴住居跡が極少数確認されますが、それ以降は姿を消し、現在も未発見です。蝦夷(エミシ)支配の一端を担った集落は9世紀前葉頃の伊治城廃絶の後を追うようにして、その役割を終えたと考えられます。

表2 伊治城周辺の遺跡数 (令和5年2月現在)

	7c末 ~8c初	8c前葉	8c中葉 ~後葉	8c末 ~9c初	9c前葉	9c中葉
伊治城周辺の周知の遺跡数	1	6	15	12	4	5
確認されている竪穴住居跡の数	3	42	54	35	6	19

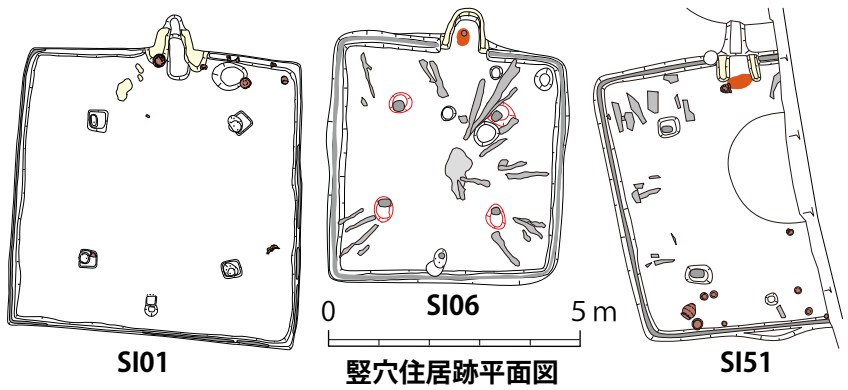
表3 移民関係年表

西暦	和暦	天皇	記 事	文献
715	霊亀1	元正	坂東(関東)6国の富民1000戸を陸奥国に移配	続日本紀
767	神護景雲1	称徳	伊治城造営完了 栗原郡設置	
768	神護景雲2		桃生城・伊治城へ移住希望者の課役免除	
769	神護景雲3		坂東8国から桃生・伊治城への移住募集 伊治村に浮浪人2500余人移住	
774	宝亀5	光仁	38年戦争勃発	
780	宝亀11	伊治公皆麻呂が按察使紀広純殺害、多賀城放火		
796	延暦15	桓武	坂東6国と出羽・越後国の9000人が伊治城移住	
811	弘仁2	嵯峨	文室綿麻呂が征夷終了を報告→38年戦争終了	

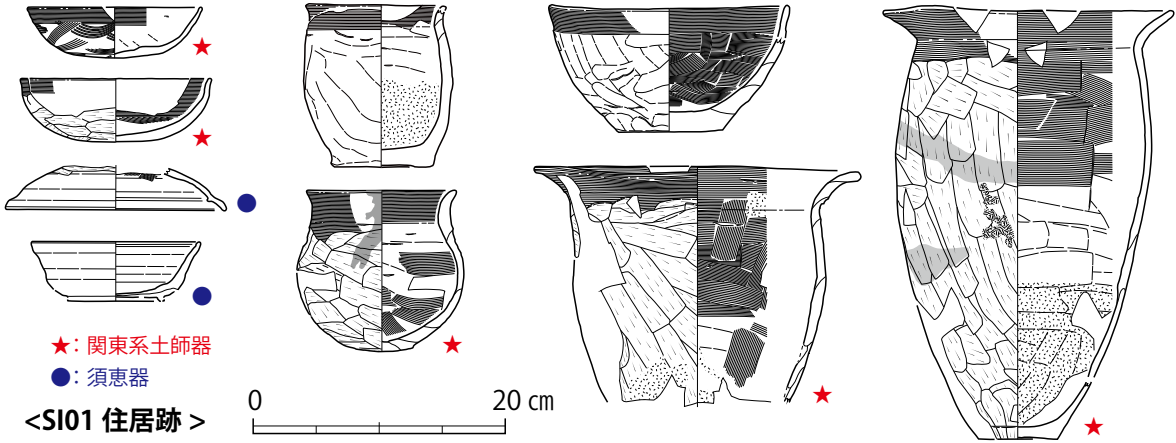
※4 この時期は関東系土師器は伴わず、これについては移民形態が「戸」=集団から「人」単位に変化したことが要因の一つと考えられています。

遺構と遺物の図化

発見された遺構や遺物は図化され、写真とともに記録として保存されます。更に、詳細な分析や検討が加えられ、その成果として「発掘調査報告書」が刊行されることにより発掘調査が完了となります。

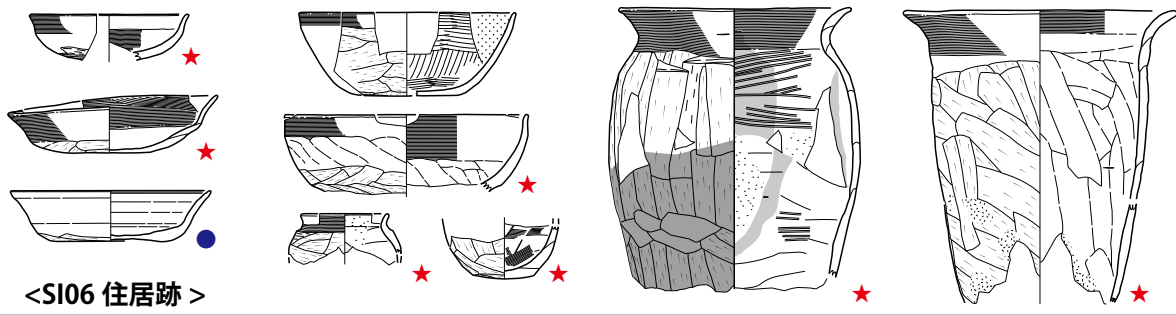


竪穴住居跡平面図

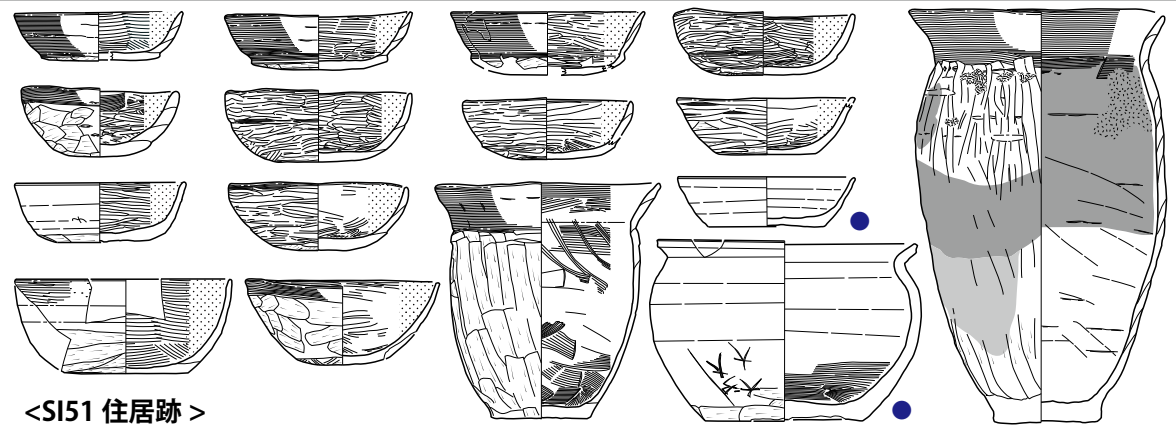


★：関東系土師器
●：須恵器

<SI01 住居跡>



<SI06 住居跡>



<SI51 住居跡>

出土土器実測図

発掘調査報告書

全国遺跡報告総覧

『みやぎ文化財チャンネル』

遺跡の発掘調査や文化財イベント情報などを分かりやすく楽しい動画で紹介するYouTube『みやぎ文化財チャンネル』を開設しました。調査現場の様子、土器発見の瞬間など調査員の赤裸々な本音もまじえ、貴重な映像を配信中です。是非、ご視聴ください。

縄文時代へタイムスリップ!

大久保町 発掘調査ダイジェスト

木炭窯と縄張り園

発掘調査レポート

宮城県 遺跡調査成果発表会

紹介＆インタビュー

名勝指定 100年

特別名勝 松島

Yayoi Shingamon

Cultural Property in Miyagi

宮城に息づく 民俗芸能

民謡

みやぎ文化財チャンネル

文化財課HP

編集・発行 宮城県教育庁文化財課 令和5(2023)年3月
 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 電話 022(211)3684
 文化財課ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/bunkazai/>
 みやぎ文化財チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCRvhv9A-1Y3xIWD8qsOLPbQ>

VEGETABLE OIL INK

この冊子は1部あたり37.4円で印刷しています。
 この冊子は再生紙を使用しています。